

セルフヘルプグループとは、同じ悩みを持つ人が集まり、相互に助け合う、市民の活動です。したがって、専門職が運営しているデイケアや家族教室などのグループとは異なります。

セルフヘルプグループたんぽぽは、幸手保健所所管4市2町(久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町)で唯一の地域を基盤とする難病患者の集まりです(2023年3月現在)。



ミニセミナー 2017年7月



難病の日ポスター掲示 2023年5月

主な活動場所 ふれあいセンター久喜
久喜市青毛 753 番地 1
☎0480-25-1010



難病カフェ in 久喜 2019年8月

お問い合わせ

セルフヘルプグループたんぽぽ 鈴木

電話 090-2423-1163

メール nannbyou.kuki@gmail.com



Facebook ページ

<https://www.facebook.com/nannbyou.k>

セルフヘルプ グループたんぽぽ

～久喜市の難病患者団体～

ご案内

団体名には、アスファルトの隙間からでも生え、
何度踏まれても枯れることのないたんぽぽのように、
「難病でも強く生きよう」という願いが込められています。



病気になってひとりでつらい思いをしていませんか？

難病患者は数が少ないゆえに、孤立に陥りやすいです。そこで、地域の中に患者さん同士の支え合いの場をつくることを目的に、2015年1月から活動しています。

活動を通して共通の悩みを抱えている仲間に出会うことができます。独りで考えているよりも、良いアイデアが浮かぶかもしれませんし、何より本音で語れる場があります。

イベントについては、その都度広報くき、久喜市ホームページ、公式 SNS 等で告知します。まずは様子を見るつもりで、気軽にお越しください。

会 員(メンバー)

本会は、難病患者さんご本人、ご家族、会の活動を応援して下さる皆さんで構成されています。

私たちは、病気や障がいの違いはあっても困難を抱えながら生活していることには変わりないと考えていて、病名は問わず、医療費助成の対象とならない難病も対象にしています。お住まいが久喜市以外でも、活動場所までお出になれる方であれば参加できます。

運営はメンバー全員で担います。2023年3月時点のメンバー数は27人です。継続して会の活動への参加を希望する方については、入会申込書の提出をお願いしています。(申込に係る個人情報、本会の運営に関するこのみに使用します。)

会 費

学生ボランティアを除くメンバーさんには、イベント参加1回につき100円を納めていただきます。

4つの活動内容

相談

メンバーが患者さんの日常生活における相談、公的手続等に関する情報提供を行います。ご相談は、面接・電話・メールでお受けします。

難病カフェ in 久喜

難病患者さんやそのご家族同士が語り合い、体験をわかち合うとともに、病気の垣根を越えて情報交換などをする交流イベントです。

社会的活動

グループ活動を通じて集まった患者さんの声を行政に届けます。



2022年7月、久喜市長と面会、要望書を提出しました。



共生支援事業~障がいについて学ぶ学習会~
「知ってください。難病患者のこと。」 2019年12月

理解啓発活動

市民への難病についての理解を求める活動を実施します。難病に関するパネル展示や講義も行います。まずはお問い合わせください。

病気で困りごとを抱えた人はここにおいで!

メンバーは「難病」という共通の悩みを抱える対等な仲間です。「語り合い」を大切に。風通しをよくすることを心がけています。学生ボランティアなど外の力を活用して無理なく運営しています。

